

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム

出張講演 実施報告

1. 企業名 : 大日本印刷株式会社
2. 講演会場 : 大日本印刷株式会社 本社 C&I ビル 会議室 3 号
3. 日 時 : 2013 年 2 月 13 日 (水) 15:00~17:40
4. 実施内容 : 15:00~15:15 ナノテクフォーラム紹介、出席者紹介
15:15~17:00 講演
17:00~17:40 ディスカッション
5. 分 野 : 健康・医療
6. 講演テーマ : 「遺伝子資源活用への挑戦」
7. 講演者 : 竹山 春子 教授 (先進理工学部生命医科学科)
8. 出席者数 : 4 名
9. 所 属 : 研究開発・事業化推進本部、情報ソリューション事業部新ビジネス企画部
10. 報告事項 :

(1) 大日本印刷株式会社側出席者の紹介。また村上より本フォーラム出張講演の趣旨についての説明 (15:00~15:15)。

(2) 竹山教授より遺伝子資源の活用と関連技術について講演 (15:15~17:00)。

講演は質問を適宜受ける形で実施され、遺伝子解析に威力を発揮するシーケンサーに関し現状から次世代、次次世代のシステムについて紹介があり、日米の政府助成金の差異がもたらす重大な問題やゲノム解析の現状の市場規模、その中心は医薬品分野が大多数で、今後は安全・安心に関わる食品や環境特に海洋関連に事業機会がありそうであること、さらに遺伝子技術の発展として、細胞 1 個 1 個や細胞と細胞との相互作用の分析に展開できる可能性があること等が紹介された。

(3) ディスカッション (17:00~17:40)

大日本印刷株式会社から新規事業開拓への取り組み方として、自ら製品を作り販売するケースと、他企業のビジネスを支援するケースが紹介され、これを踏まえて遺伝子関連での展開につき質疑応答がなされた。

11. 大日本印刷株式会社様側からの感想

(1) ご意見・ご感想をお聞かせください。

弊社の期待に即したご講演内容であった。

専門の先生の知見を直接拝聴できる機会であり、ディスカッションの時間も十分に取れるため、今後も各部門にて活用してゆきたい。

(2) 今回の講演会は、貴社としてのどのようなメリットがありましたか。

新規事業を提案する上で、現状の技術・業界動向や課題が明らかとなり大変参考になった。
また、先生の幅広いご研究内容をお聞きし、新たなテーマのヒントが得られた。

(3) また、デメリットがありましたか。もしデメリットがありましたら内容を教えてください。
デメリットは無いが、講演打診から講演実施までの期間が、やや長かった。
もう少し早めに開催頂くべきであった。